



## 伊賀市ゼロカーボンシティ宣言

私たちのまち伊賀市は、東を鈴鹿山脈、西を笠置山地、南を室生火山群、北を信楽高原と四方を山々に囲まれた伊賀盆地に位置しています。大阪湾に流れ込む淀川水系の源流域となる市内の清流には、国の特別天然記念物のオオサンショウウオが棲息する自然豊かな地域です。

しかし近年、世界的な地球温暖化による気候変動の影響で、伊賀市においても猛暑や豪雨災害等の自然災害の発生、生態系や生活環境へのリスクが高まっていることが問題となっています。

2018年に公表されたIPCC(国連の気候変動に関する政府間パネル)特別報告書では、「2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにすることが必要」と示され、我が国においても、2050年までに二酸化炭素排出量の実質ゼロ(カーボンニュートラル)をめざすことを宣言しました。

本市において、2005年12月に「伊賀市環境保全都市宣言」を行い、芭蕉も愛したかけがえのない伊賀の自然を守り、未来を担う次世代の子どもたちに引き継ぐための取り組みを進めてきました。

今後さらに、市民、事業者及び行政が一体となって取り組み、2050年までに二酸化炭素排出量の実質ゼロをめざして、ここに「ゼロカーボンシティ」を宣言します。

2024(令和6)年4月15日

伊賀市長 岡本 栄